

# 留 学 報 告 書

記入日: 2014年6月16日



所属学部／研究科・学科／専攻	国際日本学部
留学先国	アメリカ合衆国
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: ニューヨーク州立大学ニューパルツ校 現地言語: State University of New York at New Paltz
留学期間	2013年8月～2014年5月
留学した時の学年	2年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	1年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2014年5月18日
明治大学卒業予定年	2016年4月
<b>留学先大学について</b>	
形態	<input checked="" type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期:8月下旬 2学期:1月初旬
学生数	約6,440人
創立年	1828年

留学費用項目	現地通貨(ドル)	円	備考
授業料	0	0円	明治大学負担
宿舍費	3,400ドル	約34万円	
食費	3,600ドル	約38万円	
図書費	200ドル	約2万円	
学用品費	50ドル	5000円	
教養娯楽費	800ドル	約8万円	
被服費	400ドル	約4万円	
医療費		0円	
保険費	700ドル	約7万円	形態: Mandatory Health Insurance
渡航旅費	2,700ドル	約27万円	
雑費		円	
その他	旅行費	15万円	冬休み中の旅行
<b>合計</b>	13,500ドル	135万円	

## 渡航関連

**渡航経路:**アメリカへの直行便

渡航費用

チケットの種類	帰りのチケットは1年有効のもの
往路	13万円
復路	14万円
合計	27万円

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

るるぶ(ニューヨーク)

## 滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舍など)

学生寮

2)部屋の形態

個室 OR  相部屋(同居人数2人)

3)住居を探した方法:

学校側が手配してくれた

4)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

基本的に寮は古く、トイレやシャワーなどは古く汚かったです。シャワーも一畳ありません。それなのに寮費は月8万円するので、シェアハウスするほうが安いかもしれません。キャンパス内ではなくってしまいますが、居心地のいいところで暮らしたいのであれば、寮ではないほうがいいと思います。

## 現地情報

1)現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?

利用する機会がなかった

利用した:

2)学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

来たばかりの留学生のための相談窓口はありましたが、利用しませんでした。

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

特に事件には巻き込まれなかったが、学校の周りでの事件は治安がいいところにしては多かった。銃の事件なども何度かあった。そのような場合は学校から詳細のメールがきた。

4)パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWIFI接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

学校内は基本的にwifiが使えたので特に困らなかった。携帯電話は、iphone 現地のプリペイド携帯を買って電話やメールはそれで行った。

5)現地での資金調達はどのように行いましたか?(例:現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

Money T Globalというデビットカードを日本から持ってきて、それを使った。お金が足りなくなったときは親にそのカードにお金をいれてもらった。授業費を払う際に、10万円以上を一括で払えるようにしておいたほうがよい。

6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

薬、コンタクトなどは必ずもっていったほうがよい。

## 進路について

1) 進路

就職     進学     未定     その他:

2)進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など

ボストンキャリアフォーラムに行った。バイリンガルを雇用したい会社が200社以上いたのでとても勉強になった。バイリンガルな方がたくさんいて自分に専門分野がないとだめだと感じた。

3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)

4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスがありましたらお書き下さい。 (例: 留学中の就職活動へ向けた準備, 帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)
留学をすることによって就職先が変わるかもしれません。留学はいろんな人と会うことによって自分の考えを変えてくれますし、自分が本当にしたいことを導いてくれます。今留学して日本で普段の生活をするよりも圧倒的に刺激的な経験がたくさんできます。留学することを本当にお勧めします。
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)がありましたらお書き下さい。
7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスがありましたらお書き下さい。

### 学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
27 単位	<input checked="" type="checkbox"/> 22 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由: )
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
ESL Reanding and Writing	ESL リーディングとライティング
科目設置学部・研究科	English
履修期間	前期
単位数	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	チュートリアル
授業時間数	1週間に1時間50分が3回
担当教授	Christine Krug
授業内容	人種差別・男女差別・食物について・アメリカ社会の常識について
試験・課題など	課題としては2週間に一つのエッセイ、試験もその場でエッセイを書いた。
感想を自由記入	教授がとてもいい先生で、普段の授業では教えてくれないアメリカ社会について教えてくれた。テキストブックも先生が独自で作ったものだった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Elementary Chinese	中国語
科目設置学部・研究科	Chinese
履修期間	前期と後期
単位数	4
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	チュートリアル
授業時間数	1週間に1時間10分が3回
担当教授	JingJing Xu
授業内容	パワーポイントを使ったテキストにそった初級中国語の授業
試験・課題など	チャプターが終わるごとに小テストがあった
感想を自由記入	以前に中国語は受けたことはありませんでしたが、一年間終わったところには中国語の基本的な会話ができるようになっていました。これからも中国語を勉強していきたいです。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Intro to Sociology		社会学	
科目設置学部・研究科	社会科		
履修期間	前期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義		
授業時間数	1週間に1時間15分が2回		
担当教授	James Dearce		
授業内容	社会学の基礎を先生がパワーポイントで教科書にそって講義していた。生徒は主にノートをとって、自分の体験談を発言していた。		
試験・課題など	課題は自由で、一人一人プレゼンテーションを行った		
感想を自由記入	普段人間がどのような状況でどのような行動をとるかなど勉強し、とても興味深かった。一人で行ったプレゼンテーションではAを取れたのでとても達成感があった。生徒の積極的な授業態度もとても刺激的だった。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Live Theatre Experience		ライブシアター	
科目設置学部・研究科	Theatre arts		
履修期間	前期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	チュートリアル		
授業時間数	1週間に2時間30分が1回		
担当教授	Wayne Pyle		
授業内容	ミュージカルや舞台を中心に劇を見に行き、その後ディスカッションを行った。ニューヨークシティに舞台を見に行くことが何回もあり、とても楽しかった。		
試験・課題など	舞台を見た後にエッセイを書く。テストは特になかった。		
感想を自由記入	英語で舞台、劇のみを見るのはとても難しかった。特に古い話だと英語のなまりがあるので聞き取りにくかった。舞台を見た後の生徒の感想がとても正直な感想で、見たものの感想を言葉にすることがとても上手だと思った。自分もできるだけ発言するようにした。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Intro to Dance and Movement		ダンスと体表現	
科目設置学部・研究科	Theatre Arts		
履修期間	前期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	チュートリアル		
授業時間数	1週間に1時間15分が2回		
担当教授	Connie Rotunda		
授業内容	主に体表現の授業だった。人がどのように空間を使って動くか、人との距離をどう意識して行動するかなど。ヨガも少しやった。ダンスはやらなかった。		
試験・課題など	月に一回ジャーナルを提出した。授業を通しての感想を書いた。		
感想を自由記入	最初は体を動かすことを中心にやったが、最後のほうは大きな空間を使って音楽にあわせて、周りの人と言葉なしで相手のことを意識しながら動くということをやった。普段人間がどのように動いているかを意識するようになった。机に座って勉強するというよりも体を動かしての授業だったので他の生徒と仲良く慣れた。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Composition 1		ライティング	
科目設置学部・研究科	English		
履修期間	後期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義		
授業時間数	1週間に1時間15分が2回		
担当教授	Marcia Roth Tucci		
授業内容	主にエッセイの書き方について。二週間に一回エッセイを提出した。		
試験・課題など	定期的なエッセイの提出、プレゼンテーション		
感想を自由記入	色々な種類のエッセイの書き方を教わった。他の授業とのバランスが取れなくて、あまり調べものをしてしないでエッセイを書いてしまったりした。しかし、その分自分の意見をエッセイに取り込む方法が身に付いてエッセイが書きやすくなった。今後は調べ物をしっかりしてエッセイを書けばなかなか良いエッセイが書けるようになると思う。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Basic Digital Photography		写真	
科目設置学部・研究科	Photography		
履修期間	後期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義		
授業時間数	1週間に2時間40分が2回		
担当教授	Gregory Vershbow		
授業内容	写真のテクニック、Photoshopの使い方		
試験・課題など	授業で教わったテクニックを使った写真の課題を与えられた。中間テストではカメラについての筆記テストがあった。		
感想を自由記入	ベーシックであったのにも関わらず、授業で習うカメラのテクニックはとても難しかった。先生の容量が悪く、生徒を一人一人見切れてないようにも思えた。課題が難しかったので、とても負担がかかった。趣味として写真が好きな人にとることはお勧めしない。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Intro to International Politics		国際関係学	
科目設置学部・研究科	International Politics		
履修期間	後期		
単位数	4		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義		
授業時間数	1週間に1時間10分が3回		
担当教授	Stephen Pampinella		
授業内容	主に国際政治をどのように見るかという理論について学んだ。		
試験・課題など	世界地図のテスト、宿題は毎回記事を読むこと、多い時は40～ページ読んでくれるように言われた。中間と期末テストは読んだ記事、教科書、ノートから出た。		
感想を自由記入	とても難しい授業でしたが、ためになったのでとても良かったと思いました。一番苦労したのは、専門用語が多い上に先生が話すのがとても早かったことです。そのため、テスト前には録音した授業を再度聞き直し、ノートをまとめました。この授業でも生徒の知識や授業への積極的な態度がとても印象的でした。		

### 留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等（形式は箇条書きなど簡単なもので構いません）

2012年 1月～3月	高校卒業までに英検準一級の獲得
4月～7月	留学のことを親と話始める
8月～9月	どの学校がいいかを考えはじめる
10月～12月	教授に相談する
2013年 1月～3月	留学先の学校を決める（立地、治安、予算、成績考慮）
4月～7月	VISA の手続き、ワクチン接種、留学先への書類提出
8月～9月	今後の予定出発の準備、出発、8月オリエンテーション、9月中旬中間試験
10月～12月	期末試験、冬休み
2014年 1月～3月	1月中旬まで冬休み、2月中旬間試験
4月～7月	
8月～9月	
10月～12月	

## 留学体験記

留学しようと決めた理由	幼い頃海外に住んでいたことがあったので、昔から海外に行くことに憧れていました。高校の時から留学したいと思い始め、留学に向けて英検や TOIEC を頑張っていました。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	留学中に行く前にこうしておけば良かったと思うことは特にありませんでしたが、留学後の計画をしっかりと立てておけば良かったと思いました。留学が終わった後の四ヶ月間の休みを有効に使えるように、計画しておけば良かったと思いました。
この留学先を選んだ理由	明治大学国際日本学部の授業で、ニューバルツから交換留学で来ていた留学生に会って次第に仲良くなり、その子と同じ大学に行きたいと思って決めました。ニューヨークは世界中から人が集まっているところで、私が好きなミュージカルも盛んだったので、それも留学先を決めるきっかけになりました。立地や気候も大事だと思います。ニューヨークは半分が冬でとても寒かったです。
大学・学生の雰囲気	大学はニューヨークシティから1時間半離れていたのも、とても田舎でした。大学外にはあまり何もなく、メインストリートにカフェやバー、小さいお店があるだけでした。ニューバルツの学生は平日も土日でもたくさん勉強していました。授業中もとても積極的に発言していて、勉強に対する姿勢がとても刺激でした。
寮の雰囲気	前期と後期で寮が違ったのですが、前期の寮は留学生が多い所でした。留学生が多かったので、色々な国を紹介するイベントがありました。このようなイベントにはたくさんの方が来ていたので、とても楽しかったです。後期はアメリカ人が多い寮でした。私は途中からその寮に入ったので、ルームメイトやスイーツメイトと仲良くなるきっかけがなく、最後まであまり話しませんでした。
交友関係	最初は友達が少なく、友達を作らなければと焦っている自分がいました。しかし、自分から積極的に話しかけたり、寮でのイベントや ISU というクラブのイベントなどに行ったりして、次第に友達ができました。前期と後期で留学生も入れ替わったので、後期にまた新しい友達ができました。仲良くなった人と最後にたくさんパーティーをして、とても楽しかったです。
困ったこと、大変だったこと	行った当初は授業の履修登録やお金を払う方法がわからなくて困ったので、色々なことを教えてくれるパートナーがいれば良かったと思いました。また、現地の人と仲良くなるきっかけがなかったことに最初は悩みました。交流会があっても留学生同士のイベントで、アメリカ人との交流のきっかけがありませんでした。
学習内容・勉強について	日本の大学では受けられないような授業をできるだけ取り、自分のレベルよりも少し高い授業を一つ取りました。バランスよく自分のレベルに合った授業を取ることがとても大事だと思います。私にとって難しかった授業は、社会学と国際関係学でした。国際関係学では先生が話すのがとても早く、専門用語が多かったので、授業を録音してテスト前に聞きました。どの授業も生徒の積極的な態度がとても刺激的でした。
課題・試験について	課題は毎日ありました。特に教科書を読む課題が多かったです。課題をしっかりとやれば、次の日の授業内容にもしっかりとついていくことができます。私は難しい授業を一つ取っていたので、一つのテスト勉強に集中し、他はエッセイの提出で済む授業でした。
大学外の活動について	勉強が思ったよりも大変だったので、大学外で何かに所属することはありませんでした。ダンスのレッスンに行ってそこで会った人との交流は深めましたが、ニューヨークシティに何度も行けるわけではないので、あまり続きませんでした。
留学を志す人へ	留学をするかどうか、どこに行くか、留学してそれをどう生かすか。自分の人生、好きなことをやるべきだと思います。私は自由に生きている人に会い、話を聞いて、一度きりの人生、好きなことをして過ごしたい、と強く思えるようになりました。日本という一つの国に縛られず、一歩足を伸ばして行動すれば、世界は思う以上に広いです。是非、残りわずかな学生時代に人生を変える留学に行ってみてください。損はしません。保証します。

## 一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中	授業	起床	授業	授業	起床		
	授業	授業	授業	授業	授業	起床	起床
午後	授業	授業	授業	授業	授業	課題	課題
	自習	テレビを観る	授業	授業	テレビを観る	課題	課題
夕刻	友達と夕飯	友達と夕飯	友達と夕飯	クラブのミーティング	友達と夕飯	友達と夕飯	友達と夕飯
夜	ムービーナイト、自習	たまにパーティー 課題	課題	課題	パーティー	たまにパーティー	課題